

尾根歩きの鷹ノ巣山

山行日 2018年11月19日～20日

行程 11月19日 倉戸口 9:15—11:15 倉戸山 11:25—水根分岐 14:10—鷹ノ巣避難小屋 14:55(泊)
11月20日 鷹ノ巣避難小屋 6:25—6:55 鷹ノ巣山頂上 7:05—7:25 避難小屋 7:40—
六ツ石山 9:55—奥多摩駅 13:05

1日目 19日 倉戸山

ここ数日の天気が不安定で心配されたが当日は曇り空ながら雨は降っていない。一安心。電車の遅れで奥多摩に10分遅く着いたのでバスに乗り遅れたとばかり思っていたらなんとバスは我々を待っていてくれたのだ。駅から連絡があったのだろう。助かった！バスは倉戸口で降りる。降りたらトンネル手前の勾配の急な細い道を登り始める。一旦車道に出て歩いていると高い所に倉戸山➡の案内があった。見逃すところでした。温泉神社で参拝し無事を祈る。

登山道に入るといきなり急傾斜の連続。久し振りの縦走なので体がついていけない。吐く息が荒くなる。慣れるまで待つしかないか。周りの木がコナラ等の広葉樹が多くなると木と木の間隔が開いているので林床まで光が届き明るい雰囲気になるので精神的に楽になる。木のすき間から下の方に奥多摩湖の湖面が光の当たり加減かどうか分からないが青く見えたり緑がかって見えたりする。何度か尾根を巻いたり折り返して登ってようやく倉戸山の山頂についた。頂上には三角点もあり広い。春には桜の花も咲き花の名所とか。

榎ノ木尾根に入ると勾配は小さくなり歩きやすい。この尾根は道迷いの多いところらしく度々注意書きがみられる。特にこの時期は落ち葉で山道が埋もれてしまうのでルートを見失いがちだ。

赤やピンクのテープを探しながら進む。ようやく倉戸山分岐に到着。避難小屋まではもう少しだ。空模様も怪しくな

ってきた。“雨よ降らないでくれ”、“もう少し待ってくれ”と祈りながら歩く。避難小屋の屋根が見えたときホットする。全員で水場から水をくみ上げた後ポツリ、ポツリと降り出した。夕食は肉とキノコと野菜のなべ料理。暖かい料理がおなかに入ると冷たい体が温まりおいしかったです。



2日目 20日 鷹ノ巣山

昨夜の雨も上がり山行には支障がなさそうだ。小雨程度らしく地面もぬかるんではない。朝食後目の前の鷹ノ巣山をピストンで登る。小屋の前からすぐに急登となります。右側は雲海で左側は曇り空の景色を眺めながら 30 分程で頂上。各自地図とコンパスを出して東西南北を確認する。あいにく富士山は雲の中で見えない。残念。しかし南アルプス連峰ははっきりみえる。北岳も見える。

下山後奥多摩駅まで石尾根コースを下りる。水根山は教えてもらわないと見過ごしてしまいそうな山。

城山も将門馬場も巻いて下りたせいか確認できずじまい。六ツ石山は分岐に荷物をおいてピストンで登る。石尾根にも何度も急な坂道があったが昨夜の小雨で落ち葉が濡れて滑り止めになったのか尻餅をつかなくて助かった。下の方に降りてくると赤、黄色と紅葉がきれいな場所が何か所もあり目の保養となり疲れた体を癒してくれたのも助かりました。下の神社で無事下山したことをお祈りして奥多摩駅まで歩く。

皆さんお疲れ様でした。

